



FUJIKURA COMPOSITES

INTERIM BUSINESS REPORT 2021

第142期 中間報告書
2020年4月1日～2020年9月30日

アフターコロナで飛躍する 「新生藤倉コンポジット」を見据えた 第6次中期経営計画を策定していきます。



代表取締役社長 森田健司

日頃は格別のご支援を賜りお礼申し上げます。

ここに当社グループ（当社および連結子会社）の第142期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の事業の概況と業績についてご報告いたします。

Q1 当第2四半期連結累計期間の業績は いかがでしょうか？

2021年3月期（当期）の第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な経済活動の停滞という、未曾有の危機からスタートしました。当社グループは、幅広い業界の顧客を有しています。各社が操業停止や減産などの対応に追われ、当社グループも大きな影響を受けました。しかし、2020年7月を底にようやく受注が戻り、第2四半期連結累計期間の売上実績は、2020年8月に発表した業績見通しをクリアすることができました。

さらに、コロナ禍の中で販管費の圧縮に取り組み、利益面では赤字から黒字へと転換することができました。また、半導体・液晶関連部品やアフターマーケット用ゴルフシャフトなど、比較的利益率の高い製品群が好調であったことも黒字転換に寄与しました。

Q2 当社グループの主な事業「産業用資材」「引布加工品」「スポーツ用品」について状況をお聞かせください。

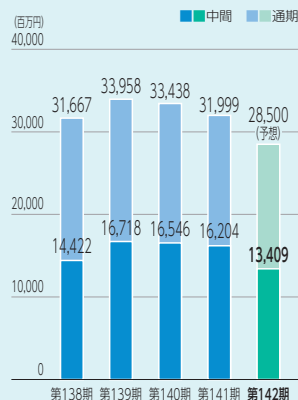
「産業用資材」では、工業用品部門の自動車関連部品は、各国のロックダウン、渡航制限政策で受注減となっていました。7月以降、海外の一部では受注が旺盛となり、現地工場では人手不足が発生するなど、回復基調が鮮明になってきました。国内はやや回復が遅く、前年同期比で90%程度にとどまっていますが、一時期の大幅な受注減の時期は脱出したと感じています。住宅設備機器は、堅調に推移していますが、下期は、やや受注が落ちる可能性が高いと予測しています。

一方、制御機器部門は、半導体・液晶市場の設備投資が期初から好調に推移し、受注増となった他、医療関連向け製品も堅調に推移しました。

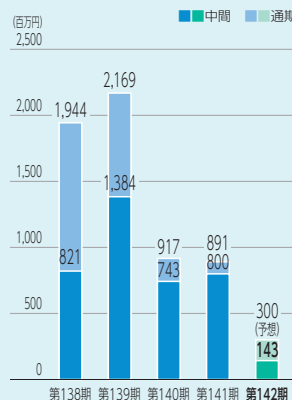
「引布加工品」では、印刷材料部門の印刷用ブランケットが、市場の低迷に加え新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、減収となりました。

「スポーツ用品」では、ゴルフ用カーボンシャフトでは、クラブメーカー向けOEM製品の販売低迷が売上に響いたものの、リシャフト市場では、アジア全域で「DAYTONA Speeder」など高機能製品の販売が堅調に推移し、「Speeder EVOLUTION VII」や米国トッププロの要求に応えるシャフトとして米国で開発された「VENTUS」が、多くのプロゴルファーに愛用され見える化されたことで、感染拡大対策を万全とした各ゴルフ場でプレーする多くのゴルファーに採用され、好調に推移しました。一方、アウトドア用品では、富士登山の全面禁止や各地山岳エリアの登山自粛による需要消失が大都市圏で大きく影響し、大幅な減収となりました。

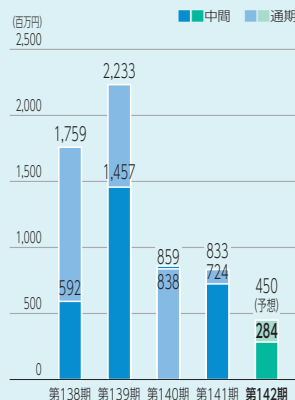
連結売上高の推移



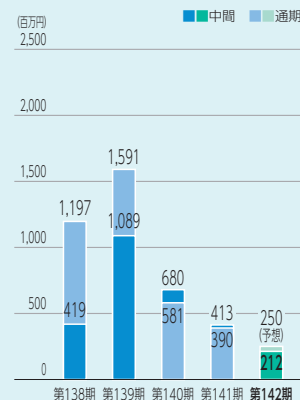
連結営業利益の推移



連結経常利益の推移



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益の推移



Q3 第6次中期経営計画の状況とお聞かせください。

コロナ禍の影響は、少なくとも当期と来期にまたがる2年間に及ぶと予測しています。そこで、この2年間を含んだ5カ年、つまり2021年3月期から2025年3月期までの長期的な視点で、第6次中期経営計画を策定し、2021年3月期決算発表にて公表することにしました。

この計画では、当社のコンポジット技術を磨き上げ、世界で飛躍する当社の5年後の姿を追求していきます。既に、主力事業分野である自動車関連部品では、社内で次世代自動車事業を構想するプロジェクトチームを立ち上げ、自動車メーカー各社と直接技術者同士が話し合う取り組みをスタートしました。また、原町工場で生産を開始した医療関連向け製品は、この5年間で確固たる市場ポジションと受注を獲得し、これまでの設備投資の回収を目指す計画策定を進めています。さらに、CFRPを使用したロボットアームやドローンなど、事業開発統括の方で取り組んでいる新規事業や新技術の育成、事業化にも積極的に取り組んでいきます。

そして、製品・技術開発の横串となる品質管理体制を改めて整備し、不良率の低減や効率を高めて、コスト削減を図る生産技術センターのグローバル活用などにも踏み込んでいきます。

また、社外取締役から有益な指摘や提案を受けることを目標に、岩槻工場で取締役会を開催し、その後工場見学を実施しました。こうしたガバナンス体制の強化策にも積極的に取り組み、「新生藤倉コンポジット」の屋台骨を支える経営を磨いていきます。

Q4 最後に今後の展望と株主様へのメッセージをお願いします。

2021年3月期の上期は、コロナ禍による国内外での移動制限があったことから、出張がほとんどできませんでした。下期には、これも解除されることで、徐々にこうした出張もできるようになり、旅費交通費が増加します。また、稼働率が高まっている各工場では、残業などで人件費が増大します。受注がまだ完全に回復していない中で、販管費の増加から、まだまだ厳しい経営環境が続いていくと覚悟しています。

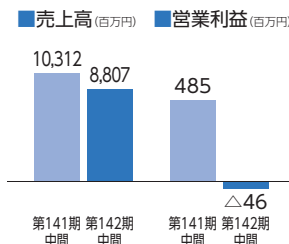
こうした状況を踏まえ、将来の事業展開と企業基盤の強化のために重要な設備を厳選して投資し、できるだけ必要な内部留保の確保と、株主の皆様への利益還元を両立するために、誠に遺憾ではございますが、株主配当は、中間配当、期末配当ともに5円、合計10円とさせていただきます。

株主の皆様には、倍旧のご愛顧と、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



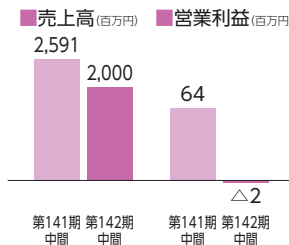
65.7% 産業用資材

工業用品部門は、住宅機器関連は堅調に推移しましたが、自動車関連部品は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により特に国内・ASEAN地域が停滞したため減収減益となりました。制御機器部門は、半導体・液晶市場の設備投資が好調を維持し、また、医療市場も堅調に推移し増収増益となりました。この結果、売上高は88億7百万円(前年同四半期比14.6%減)、営業損失は4千6百万円(前年同四半期は営業利益4億8千5百万円)となりました。



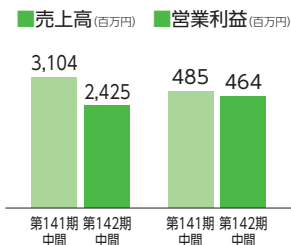
14.9% 引布加工品

引布部門は、第2四半期に入り回復傾向が見られるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で自動車関連、電気電子部品関連等の需要が低迷し減収減益となりました。印刷材料部門は、新聞用ブランケットの売上は増加したものの、国内商業印刷用ブランケット及び輸出は市場低迷に加え新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減収減益となりました。加工品部門は、国内において救命設備など舶用品が減収となりましたが、品種構成の変化により増益となりました。この結果、売上高は20億円(前年同四半期比22.8%減)、営業損失は2百万円(前年同四半期は営業利益6千4百万円)となりました。



18.1% スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、北米市場でOEM製品の販売低調が影響し減収となりましたが、7月以降は市場が回復し始め、さらに北米モデル『VENTUS』と日本モデル『Speeder EVOLUTION VII』が多くのプロゴルファーに使用されることにより自社ブランド商品の販売が好調に推移し増益となりました。アウトドア用品部門は、ストップしていた春夏向け商材の出荷が順次再開しましたが、富士登山の全面禁止や各地山岳エリアの登山自粛による需要消失が大都市圏で大きく影響し、大幅な減収減益になりました。

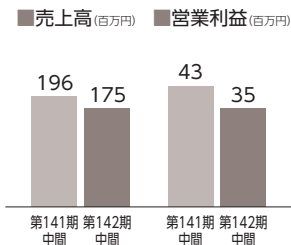


この結果、売上高は24億2千5百万円(前年同四半期比21.9%減)、営業利益は4億6千4百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。

1.3% その他

物流部門は、倉庫関係の運用は好調だったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により運輸部門が落ち込み減収減益となりました。

この結果、売上高は1億7千5百万円(前年同四半期比10.6%減)、営業利益は3千5百万円(前年同四半期比18.0%減)となりました。



TOPIC 1

新型コロナウイルス対策関連の製品を製造・販売しています。

ナイロン製簡易防護服 アイソレーションガウン型

独自のシリコンDIP処理加工を施したナイロンガウンです

当社が独自技術を持つ引布を使用したナイロン製簡易防護服を、グループ会社「株式会社キャラバン(東京都豊島区)」と共同で開発しました。

軽量でソフトな着心地と共にナイロンにシリコン処理を施した生地を使用しているため、高い撥水性による遮断性を実現し、洗って繰り返し使う事も可能です。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で防護服の入手がひっ迫する医療現場に寄贈しております。

お問合せ先

藤倉コンポジット(株) マーケティング部 マーケティングチーム

TEL 048-794-2940 Eメール kaihatsu@fc.fujikura.co.jp

軽量
約150g

安心の
日本製
国内生産
国内縫製

F
フリーサイズ

ソフト
しなやか生地で
動きやすい

安全
環境負荷が少なく
燃やしても
ダイオキシンの発生
がありません

高い
撥水性
撥水度
4級相当



感染対策 陰圧式エアートント

新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策に最適

屋内外に簡単かつスピーディーに設置することが可能な陰圧式エアートントです。

二次感染対策が施された外来診察室や検査室として使用できます。

世界は今、新型コロナウイルスのパンデミックによる混乱により不確実性が高まっていますが、本製品はその抑制に資するものであると考えております。今後も引き続き、製品の改良、改善に努めてまいります。

お問合せ先

藤倉コンポジット(株) 引布加工品事業部 営業部

TEL 03-3527-8396 Eメール kakouhin@fc.fujikura.co.jp



TOPIC

2

「健康経営プロジェクト」始めました。

当社はこのたび、「健康経営プロジェクト」を立ち上げ、「健康経営」に取り組んでいます。

「健康経営」とは、会社が従業員ひとりひとりの健康増進・疾病予防を図り、社員が個々の能力を十分に発揮する活力ある組織によって収益の向上を目指すことです。

従業員がみないいききと働ける環境を作り、より一層魅力ある企業を目指します。

健康経営宣言

藤倉コンポジットグループは、社員の健康を重要な経営資源の一つであると捉え、個人の自発的な健康活動に対して積極的な支援を行い、組織的な健康活動の推進を図ります



2020年10月には、事業所対抗で、1人当たりの歩数を競うウォーキングラリーを開催しました。

TOPIC

3

非常用モバイル充電器『アクアチャージ』を優待発送しました。

2020年3月末時点の株主様で、お申し込みがあった方に、非常用モバイル充電器『アクアチャージ』を発送しました。

当社の製品に直接触れていただき、万一の災害に備えていただけますと幸いです。万が一、お申込みいただいたにも関わらず届いていない場合は、お手数おかけしますが以下連絡先までご連絡ください。



お問合せ先

藤倉コンポジット(株) 人事総務部 総務広報チーム

TEL 03-3527-8412

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

科 目	期 別	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
資産の部			
流動資産		20,132	20,801
現金及び預金		5,862	5,528
受取手形及び売掛金		8,316	9,390
商品及び製品		2,356	2,236
仕掛品		2,200	2,376
原材料及び貯蔵品		797	700
その他		680	628
貸倒引当金		△81	△59
固定資産		14,437	14,825
有形固定資産		12,496	12,906
無形固定資産		160	174
投資その他の資産		1,780	1,743
資産合計		34,569	35,626

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
負債の部			
流動負債		8,116	8,779
固定負債		2,547	3,033
負債合計		10,664	11,812
純資産の部			
株主資本		23,819	23,770
資本金		3,804	3,804
資本剰余金		3,212	3,212
利益剰余金		16,822	16,774
自己株式		△20	△20
その他の包括利益累計額		86	43
純資産合計		23,905	23,813
負債純資産合計		34,569	35,626

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期 (累計) 2020年 4月 1日から 2020年 9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2019年 4月 1日から 2019年 9月30日まで
売上高		13,409	16,204
売上原価		10,365	12,145
売上総利益		3,044	4,059
販売費及び一般管理費		2,901	3,258
営業利益		143	800
営業外収益		238	111
営業外費用		97	187
経常利益		284	724
税金等調整前四半期純利益		284	494
法人税、住民税及び事業税		101	119
法人税等調整額		△ 29	△ 37
四半期純利益		212	413
親会社株主に帰属する四半期純利益		212	413

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期 (累計) 2020年 4月 1日から 2020年 9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2019年 4月 1日から 2019年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,390	809
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 812	△ 1,393
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 157	533
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 86	△ 112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		334	△ 163
現金及び現金同等物の期首残高		5,528	5,188
現金及び現金同等物の四半期末残高		5,862	5,024

会社概要 (2020年9月30日現在) Corporate Data

■ 会社概要

創 業 1901年 10月
資 本 金 38億 429万円
従 業 員 数 連結 2,500名
単体 750名

■ 役員

代 表 取 締 役 森 田 健 司
取 締 役 社 長
常 務 取 締 役 植 松 克 夫
取 締 役 金 井 浩 一
取 締 役 高 橋 秀 剛
取 締 役 弓 削 千 賀 志
取 締 役 (社 外) 長 浜 洋 一
取 締 役 (社 外) 佐 々 木 聡
監 査 役 高 橋 良 尚
監 査 役 (社 外) 細 井 和 昭
監 査 役 (社 外) 田 中 響 子

● 取締役 長浜洋一及び佐々木聡並びに監査役 細井和昭及び田中響子の各氏を、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員として同取引所に届け出ております。

■ 子会社 (*:連結対象)

会社名	国名	主要な事業内容
* 株式会社キャラバン	日本	アウトドア用品の販売
* 藤栄運輸株式会社	日本	運送事業
* Fujikura Composite America, Inc.	米国	ゴルフ用カーボンシャフトの販売
* FUJIKURA GRAPHICS, INC.	米国	印刷用ブランケットの販売
* IER Fujikura, Inc.	米国	工業用ゴム製品の製造販売
* 杭州藤倉橡膠有限公司	中国	工業用ゴム製品の製造販売
* 安吉藤倉橡膠有限公司	中国	工業用ゴム製品の製造販売
* FUJIKURA COMPOSITES HAIPHONG, INC.	ベトナム	産業用資材、引布加工品及びゴルフ用カーボンシャフトの製造
株式会社藤加工所	日本	救命筏、産業資材の製造
株式会社アールアンドアールフジクラ	日本	ゴルフクラブのリシャフト・フィッティング
株式会社藤光機械製作所	日本	産業用精密部品の製造
株式会社福島キャラバン	日本	アウトドア用品の流通
株式会社アイオス	日本	精密金属加工
Fujikura Composites Korea, Co., Ltd.	韓国	工業用ゴム製品、制御機器、アウトドア用品の販売
Fujikura Composites Europe B.V.	オランダ	印刷用ブランケットの販売
藤栄サービス株式会社	日本	障害者雇用を目的とした特例子会社

■ 当社グループ主要製品及び商品

工業用品

ダイヤフラム、BFダイヤフラム、シール部品、精密部品、アンブレラ、ダックビル、防振ゴム、水ガバナ

制御機器

各シリンダ、レギュレータ（減圧弁）、流量調整弁、チェック弁、リリーフ弁

電気材料

超低硬度材料、各種機能性テープ、常温収縮チューブ、導電・絶縁材料、風力発電機用ブレード保護シート、マグネシウム空気電池

引布

ゴム引布、極薄ゴムシート、接着・粘着処理、ラテックス

印刷材料

印刷用ブランケット

加工品

船舶用救命設備、航空機用救命設備、コンサベータ、産業用資材

スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト、産業用CFRP製品、アウトドア用品

■ 当社事業所

本 社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明

大阪支店

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4

勝田営業所

〒312-0041 茨城県ひたちなか市西大島2-6-21

名古屋営業所

〒460-0011 名古屋市中区大須4-1-40

岩槻工場・エンジニアリングセンター

〒339-8510 さいたま市岩槻区上野6-12-8

原町工場

〒975-0027 福島県南相馬市原町区上北高平字植松268

加須工場

〒349-1158 埼玉県加須市新利根1-4-4

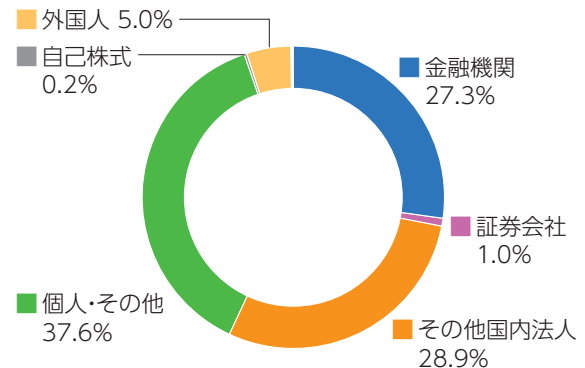
■ 株式の状況

発行可能株式総数 90,000,000株

発行済株式総数 23,446,209株

株 主 数 12,130名

■ 所有者別持株比率



■ 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
株式会社フジクラ	4,776,300	20.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,530,900	6.54
富国生命保険相互会社	950,000	4.06
藤倉化成株式会社	569,840	2.44
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	530,300	2.27
藤倉航装株式会社	515,210	2.20
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	469,899	2.01
三井住友海上火災保険株式会社	437,500	1.87
三井住友信託銀行株式会社	418,000	1.79
明治安田生命保険相互会社	400,808	1.71

出資比率は、自己株式49,537株を除いて計算しております。

株主メモ Stockholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の 議決権・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告掲載方法	当社ホームページ
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) ※土・日・祝祭日を除く9:00～17:00

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されてしまった株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

藤倉コンポジット株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明
(証券コード：5121)

フジクラシャフト新商品のご案内

世界中のゴルファーにご愛用頂いている
Speeder EVOLUTIONシリーズの7代目となる
『Speeder EVOLUTION VII』を
9月に発売いたしました！
最新のヘッドに合わせた剛性設計で
つかまりをアップデート。
切り返しでの間の取りやすさも兼ね備え、
スイングリズムの安定を手助けします。
さらにEVO VIでも使用した超高弾性炭素繊維
平織シート「70tカーボクロス」により
押し込めるインパクトゾーンを実現。
新感覚の加速感を体感してください。



商品情報の詳細は、HPをご覧ください。

<https://www.fujikurashaft.jp/>

フジクラシャフト

検索 カチッ

この中間報告書は、当社のブランケットを
使用して印刷しております。

